

11月12日（水）5時限目 「総合的な探究の時間」（体育館）

【複眼的思考へ】 前回は、「常識を疑う」でした。今回は一歩進んで、事実に基づき推論するが目標です。

例えば、「薬は人の役に立つ」。その逆は、「薬は人の役に立たない」ではなく、「薬は人の役に立つとは限らない」になる。実際に薬が役に立っている事例はたくさんあるのですから。

ただ、風邪ウイルスには、抗生物質は効果がない、というのが原則のようです。医師はもちろんご存じですが、患者が薬を所望するので、出す。その結果、薬が効かない多剤耐性菌が生まれやすくなり、長い目で見ると、抗生物質が人々に害をなすとも言えるということです。

また、風邪の時、発熱するのは、その人の免疫機能が正しく反応している証拠。解熱剤で、体温を下げると身体の戦う力を弱めてしまう。と口にする医師は、多くはありませんが、少なくともありません。そういうことが続くと免疫機能が衰えると。

このように、物事は単純ではないということに気付いてもらうよう、働きかけをしました。

